

競 技 注 意 事 項

1. 2021 年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。

2. 感染症対策に関して

- (1) 競技中・ウォームアップ中以外は、マスクを着用すること。
- (2) 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でも準備すること)
- (3) 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援)
- (4) 体調チェック表の提出。(提出が無い場合は、出場できない)
- (5) 無観客での大会とする。(ライブ配信あり。陸協 HP 確認)

3. 招集について

- (1) 招集所は、第 1 ゲート (100m ゴール側ゲート) 外側に設ける。
- (2) 招集時刻 (時間) について。

トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので 裏表紙の競技時間表を参照のこと
フィールド競技	

- (3) メイン競技場への入場は、招集完了後各自で競技場所へ移動すること。
 - ・ 競技場内への選手誘導は、実施しない。
 - ・ 招集後の入場については、特にトラックの横断に充分気をつけること。
- (4) 県選の部 1500m は、招集時に腰ナンバーカードを貸与するので、右腰に付けること。
 - ・ 終了後、係員に返却すること。
- (5) リレー種目はオーダー用紙を招集完了 1 時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。(オーダー用紙は T I C にある。)
- (6) 招集は必ず本人が行い、代理による招集は認めない。
 - ・ 但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出ること。
- (7) 電子機器類の競技場への持込を禁止する。(携帯電話、ミュージックプレーヤー、ビデオ類等)
 - ・ 招集所で持ち物をチェックする。

4. 競技について

- ・ スパイクピンの長さは、9mm 以下とする。
- ・ シューズ規定 (厚底シューズ) は、2020 年改訂のルールを適用する。
- ・ 1500m の競技において、競技運営に支障をきたす場合は競技を中止させることがある。

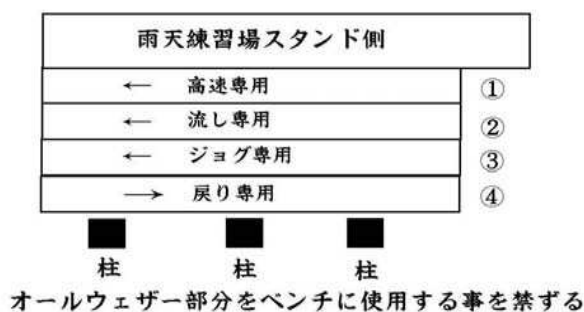
5. 三重県選手権の部 (1 次予選) について

- 100m・200m・1500m の 1 次予選において上位 50 名は、予選ラウンド (県選 7/10・11) への進出が出来る。(結果は、三重陸協 HP で確認のこと)
- 県選手権のエントリー方法は、エントリー用紙で「**予選会通過*****」を選択すること。
 - ・ 予選会通過100、予選会通過200、予選会通過1500を選択すると参加費は発生しない。
- 400m へエントリーした選手は 1 人 2 種目の制限により、県選手権の個人種目はあと 1 種目しかエントリーできない。(注意)

6. 選手権の部 400m、定通の部 1～8 位までに入賞した者は、表彰を行うので通告後直ちにエントランスに集合すること。
7. 競技エリア内へは、選手・役員・許可者以外の立入を禁止する。
8. 補助競技場、練習場について（使用については、下記のことを厳守すること）
 - ・ベンチを設置することを禁止する。
 - ・ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しないこと。
 - ・1・2レーンは、長距離専用、3～6 レーンは、流し等の専用、7・8レーンはハードル専用とする。
 - ・スタート練習は110mHのスタートラインを使用のこと。
 - ・リレーのバトンパス練習は衝突回避の為、バックストレートを使用すること。
 - ・走幅跳の練習は所定のピットで行う。
 - ・投てきの練習は禁止する。（投てき場も使用不可）
 - ・走路及びピットに立ち止まるとの指導等を禁止する。
 - ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - ・直走路の横断は十分に注意すること。

9. 雨天練習場の使用について

- ・右図のとおりとする。
（途中横断禁止）



10. 競技場内施設利用等について

- ・更衣室は、TICでIDカード受領後、使用すること。
- ・メインスタンドは防水処理加工がされているので、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。
- ・メインスタンドにテントの設置は禁止する。
- ・中央通路より上の席を、各校控え場所として利用出来る。
- ・芝生席・バックスタンドにベンチ、テントの設置は可とする。（チーム内でも人と人の間隔を空けての利用をお願いします。）
- ・メインスタンド1階への入場は役員・IDカード持参者のみとする。
- ・メインスタンド2階コンコースでのチームベンチ設置は可とするが、通路を確保すること。

11. その他

- 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃して帰ること。
- 持ち物の保管は各自で責任を持つこと。（カラス等の被害も気をつけること）
- 競技場周辺における投てき練習は禁止する。
- 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。